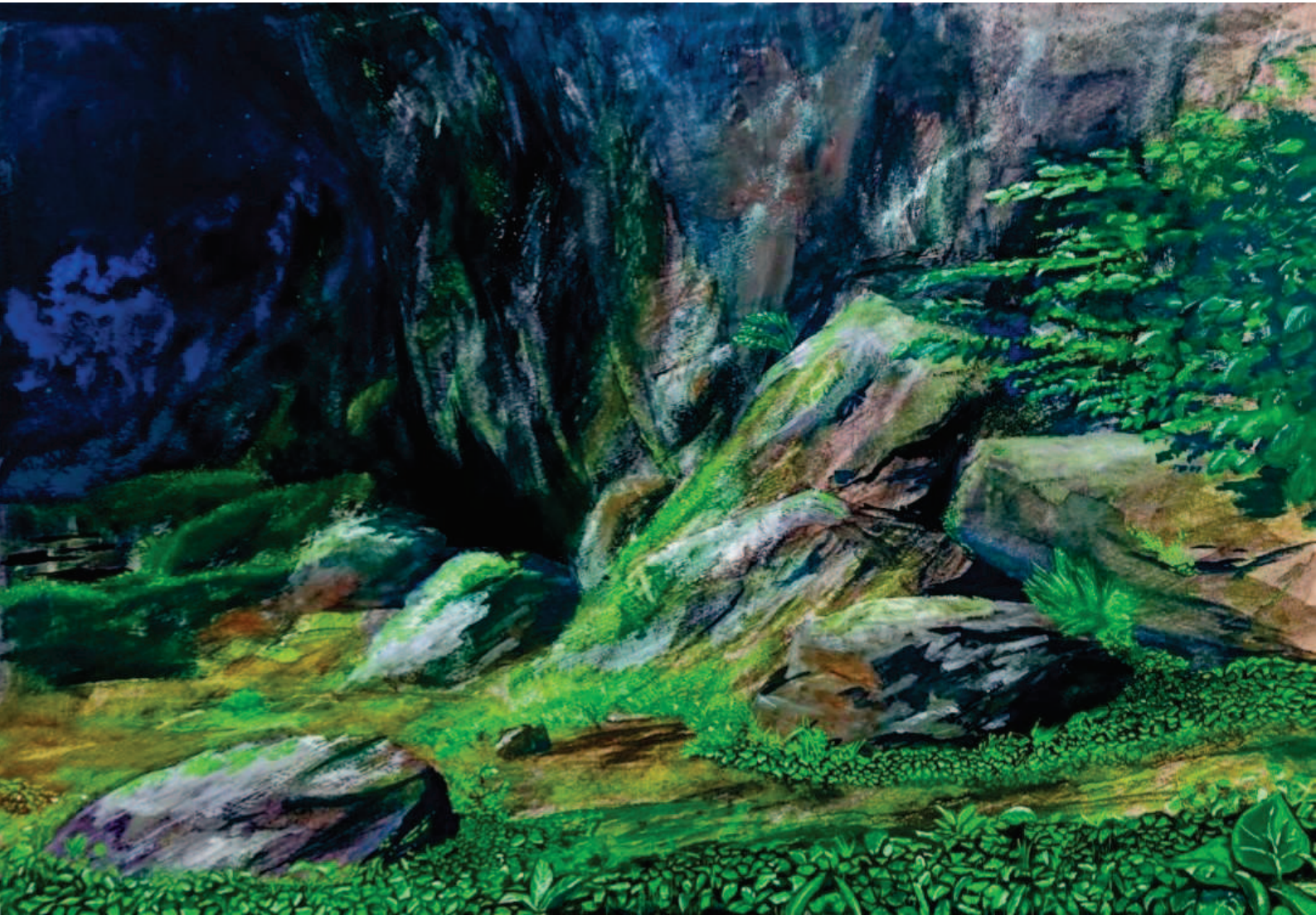


朗読公演会

# むかしごけ

原作 武田 泰淳  
文学座



令和8年6月7日(日)

開場13時15分

開演14時

※上演時間 約1時間15分

会場：山梨県立文学館講堂 定員500名

申込方法

電話(055-235-8080)または当館ホームページの「イベント」欄の申込フォームからお申し込みください。

入場無料  
(要申込)

**先着順、定員になり次第締め切ります。**

そのことばのつづきへ  
山梨県立文学館  
Yamanashi Prefectural Museum of Literature  
〒400-0065 甲府市貢川1-5-35



文学館HP

特設展「昭和文学をふり返る - 収蔵資料より」令和8年4月25日(土)～6月14日(日)関連事業

文学座期待の新鋭による、山梨のための貴重な舞台です。お見逃し、お聞き逃しなきよう！

【演出】戸塚 萌  
【照明】阪口 美和【音響】池田 優美

【キャスト】



相川 春樹  
AIKAWA Haruki

千葉県出身。過去の出演作に、NHK-FM『水を運ぶ』『天涯の砦』、舞台『痕、婚、』『野良豚Wild Boar』など。吹替やナレーションのほか、“文学座こどもげき”の主要メンバーでもある。



武田 知久  
TAKEDA Tomohisa

千葉県出身。過去の出演作に、映画『ちひろさん』『初仕事』、舞台『肝っ玉おっ母とその子供たち』『るつぼ The Crucible』など。2026年10月『あしあと』（文学座アトリエ）出演予定。



松浦 慎太郎  
MATUURA Shintaro

神奈川県出身。過去の出演作に、テレビ朝日『相棒』Netflix『白と黒のスプーン〜料理階級戦争〜シーズン1』、舞台『亀岩奇談』『昭和虞美人草』など。CMやボイスオーバー等、多方面で活躍中。



比嘉 崇貴  
HIGA Takaki

沖縄県出身。過去の出演作に、NHK『ミッドウエー海戦』3418人の命を悼む』、舞台『リセット』『リア王』『国防まんじゅう顛末記』など。大舞台からナレーションまで、幅広く活動中。

「ひかりごけ」武田泰淳<sup>たいじゆん</sup>原作

食人者の後ろには緑の光が灯るという。舞台は太平洋戦争末期の北海道・羅臼。船が難破し、洞窟にたどり着いた4人の男は、食糧もなく次第に衰弱していく。実際に起きた事件を題材に、生死の境に追い詰められた人間の極限の心理が描かれた1954年発表の「ひかりごけ」は、人間がこの世にあるとはどういうことかなど様々な反響を呼んだ。

羅臼を訪れた「私」の語り前半、「私」が事件を題材に書いた戯曲(二幕)の後半という構成の原作を、文学座の4人が現代に再現する。

武田泰淳 1912-1976

戦争中の中国体験や出来事を「審判」「ひかりごけ」などに描き、戦後、作家としての地位を確立した。1964年、鳴沢村に山荘を建て、週の半分以上を山梨で過ごすようになる。

文学座とは

文学座は1937年、久保田万太郎・岸田國士・岩田豊雄の発起により創立。森本薫『女の一生』、有吉佐和子『華岡青洲の妻』、ロスラン『シラノ・ド・ベルジュラック』、ウィリアムズ『欲望という名の電車』など数々の舞台を生み、名優 杉村春子、太地喜和子、北村和夫らを生み出してきました。現在は約200名の俳優とスタッフが所属し、舞台・映画・TVなど多方面で活躍。近年はワークショップ事業等を通じ、世代や地域を超えて演劇を活かした社会包摂活動を展開し、伝統と革新を担う劇団として歩み続けています。

文学座  
「ひかりごけ」朗読の様子

朗読の雰囲気をお伝えします。6月7日の公演とはキャスト、演出等が一部異なります。



文学座ショートムービー  
「これ、食べる？」

食べる、とは。生きる、とは。現代を生きる青年が人間の本質に向き合う。



監督・脚本・編集 遠真平

交通のご案内

中央自動車道

- 甲府昭和インターチェンジより約10分
- 双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用

中部横断自動車道

- 白根インターチェンジより約20分

JR中央本線甲府駅より

- JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統みだいで御勅使、03・04系統 竜王駅經由敷島営業所、35系統 大草經由韮崎駅、30系統 貢川団地各行き(くがわ)のバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。  
※山梨県立文学館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。
- タクシーで約15分。



※天候等により関連イベントが変更・中止となる場合があります。当館ホームページで最新情報をご確認ください。